

平成 30 年度

事業計画書  
収支予算書

自 平成 30 年 5 月 1 日  
至 平成 31 年 4 月 30 日

公益財団法人 A O K I 財団

## I. 基本方針

本年度は、当財団設立8年目になります。

前年度同様、教育振興活動として、長野県内の中学生を対象に“卓越した国家経営者の育成”を目的とした「ながの視察団 平成の咸臨丸」、長野・新潟・富山・石川・福井県内の中学生を対象とした奨学金事業「AOKI塾」、横浜市在住及び横浜市内に主たる校舎を有する中学校に在籍の中学生を対象とした“日本のスティーブ・ジョブズを生み出し、教育に留めず起業までをサポートするインキュベータープロジェクト”「AOKI起業家育成プロジェクト」の支援を行います。

具体的には、長野県内で「第6期ながの視察団 平成の咸臨丸」の募集活動及び選考、結成式、研修の実施。長野・新潟・富山・石川・福井県内の中学生を対象とした「第4期AOKI塾」の募集活動及び選考、1年目の奨学金の支給。横浜市内で「第3期AOKI起業家育成プロジェクト」の募集活動及び事業支援を実施。また新たな事業として、日本国内の大学または大学院在籍者を対象に起業教育を目的とした「大学生向け企業支援奨学金」制度の企画を行ってまいります。

## II. 事業計画の内容

### 1. 教育振興活動事業

#### (1) 第6期「ながの視察団 平成の咸臨丸」事業

##### ■本事業の目的

長野県から日本の将来を担う人材を継続的に育成することを目指す。

##### ■育成方針

日本を背負い、日本をより良くしようとする志を持った長野県内の中学生を対象に、月1回の研修と2回の海外視察を実施。さらに様々な経験の機会を提供し、卓越した国家経営者の輩出の土台とするための研修機会を提供する。

- ① 政治、経済、歴史、芸術など、様々な分野の第一人者との面談や、講義、課題討議、実習などの研修の実施により、見聞を広げる。
- ② 海外視察を通じ（事前勉強⇒実施⇒振り返り）、視野を広げる。
- ③ 研修や海外視察などを通じて、真剣に日本の将来を考え、自らを成長させる。

##### ■具体的事業内容

本年度は第6期のスタートの年にあたり、応募期間、応募方法、実施期間、活動内容等に関しては以下の通り予定している。

- ① 主催：AOKI財団
- ② 後援（予定）：長野県教育委員会、信濃毎日新聞社

- ③ 研修期間：平成 30 年 8 月（結成式）  
 平成 30 年 9 月～平成 31 年 11 月（通常研修）  
 平成 31 年 3 月、平成 31 年 8 月（海外研修）  
 平成 31 年 12 月（修了式）
- ④ 募集対象：長野県内市町村在住の中学生
- ⑤ 募集人員：定員 10 名
- ⑥ 応募期間：平成 30 年 6 月 1 日～平成 30 年 7 月 9 日
- ⑦ 応募方法：応募書類及び作文の提出
- ⑧ 選考方法：一次 書類選考、二次 面接
- ⑨ 研修内容
- ・ 集合研修  
 毎月 1 回原則第 4 日曜日に長野市（あるいは松本市）にて、社会人基礎力を向上させる目的で、個人作業、課題討議、チーム活動、英語での授業などを組み合わせて実施。また、海外視察研修や国内で面談する方々との研修が実り多いものとするように準備する。
  - ・ 海外視察研修  
 第 1 期は北欧（スウェーデンとフィンランド）と USA、第 2 期はドイツと USA、第 3 期・第 4 期は英国と USA、第 5 期はスウェーデンと USA を訪問。第 6 期は北欧と USA を予定。
  - ・ 国内での訪問・面談研修  
 国会議員の方々、経済界で活躍されているの方々、科学振興、文化・芸術振興の面で活躍されているの方々、社会貢献活動の分野で活躍されているの方々との面談を予定。また British School（東京）での授業参加も予定。

⑩ 費用（平成 30 年度分）

総額：	1,745 万円
内訳：準備活動費（募集広告）	80 万円
国内研修活動費	367 万円
海外研修活動費	900 万円
研修会場設営費他	398 万円

※参考 第 6 期分総額（平成 30 年 5 月～平成 31 年 12 月）

総額：	3,414 万円
内訳：準備活動費	80 万円
国内研修活動費	734 万円
海外研修活動費	1,800 万円
研修実費	800 万円

## (2) 第4期「AOKI塾」事業

### ■本事業の目的

長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県内の向上心の高い生徒に、さまざまな学びができるよう奨学金を提供する。奨学金は月1万円で2年間、合計24万円を支給するものとする。支給方法は1年ごと12万円をまとめて支給する。

### ■奨学金の使い方

- ① 文学、科学、自然、芸術、美術、その他情操教育や向上心を高めることに役立つ読書にかかる費用
- ② 科学館、美術館などの入館、クラシック音楽会やバレエ・ミュージカルなどの観劇、スポーツや文化イベント等への参加費用
- ③ ボランティア活動への参加費用
- ④ 県外や海外の生徒、学生との交流にかかる費用
- ⑤ 長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県の歴史、経済、文化を理解するためにかかる費用
- ⑥ その他、本企画の目的に合致すると考えられる活動費用

### ■具体的事業内容

本年度は第4期のスタートの年にあたり、第4期の応募期間、応募方法、実施期間、活動内容等に関しては以下の通り予定している。

- ① 主催：AOKI財団
- ② 募集対象：長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県内市町村在住の中学生
- ③ 募集人員：定員30名
- ④ 応募期間：平成30年6月1日～平成30年7月9日
- ⑤ 応募方法：応募書類及び作文の提出
- ⑥ 選考方法：書類選考
- ⑦ 活動内容：平成30年9月に1年間分12万円を各自に支給。中間報告会（平成31年8月）を実施予定。

### ⑧ 費用（平成30年度分）

総額：710万円

内訳：奨学金（30名分・1年分） 360万円

準備活動費（募集広告） 350万円

※参考 第4期分総額（平成30年5月～平成32年8月）

総額：1,150万円

内訳：奨学金（30名分・2年分） 720万円

準備活動費（募集広告） 350万円

中間報告会 80万円

### (3) 第3期「AOKI 起業家育成プロジェクト事業」

#### ■本事業の目的

将来の日本経済を牽引する起業家を育成することを目指す。

#### ■育成方針

感性豊かで柔軟な思考・行動が可能な中学生を対象に、起業体験ワークショップ、起業家との交流、起業家に必要な育成講座、ビジネスプラン策定及びプレゼンテーション・イベント、海外視察への参加費用を支給する。

#### ■具体的事業内容

事業3年目にあたる本年は過去2回の改善から少数精鋭、手厚いプログラムとするため、研修期間を10ヶ月から約1年半、募集人数を20名から10~12名に変更し、応募、選考、研修を実施。応募期間、応募方法、実施期間、活動内容等に関しては以下の通り予定している。

- ① 主催：AOKI 起業家育成プロジェクト実行委員会
- ② 特別後援：AOKI 財団
- ③ 後援（予定）：横浜市教育委員会  
横浜国立大学成長戦略研究センター  
一般財団法人 神奈川県私立中学高等学校協会
- ④ 企画・運営：Space BD 株式会社  
（旧ナガサキ・アンド・カンパニー株式会社）  
（経済産業省平成27年度起業家教育普及促進事業採択団体）
- ⑤ 研修期間：平成30年7月（結成式）  
平成30年8月（導入講座・横浜国大特別講座）  
平成30年8月~11月（月1回の集合研修）  
平成30年12月（中間発表会）  
平成31年3月（集合研修及びシリコンバレー視察）  
平成31年4月~11月（月1回の集合研修）  
平成31年12月（修了式・最終発表会）
- ⑥ 募集対象：横浜市在住及び横浜市内に主たる校舎を有する中学校に在籍の中学生
- ⑦ 募集人員：定員10~12名
- ⑧ 応募期間：平成30年5月初め~平成30年6月末
- ⑨ 応募方法：応募書類及び作文の提出
- ⑩ 選考方法：有識者からなる選考委員会に於いて選考  
一次書類選考  
二次グループディスカッションと面接

⑪ 費用（平成 30 年度分）

総額：	4,550 万円
内訳：企画運営費（業務委託）	500 万円
準備活動費（募集広告）	425 万円
国内研修活動費	2,225 万円
海外研修活動費	1,150 万円
研修会場設営費他	250 万円

※参考 第 3 期分総額（平成 30 年 5 月～平成 31 年 12 月）

総額：	8,750 万円
内訳：企画運営費（業務委託）	1,000 万円
準備活動費（募集広告）	500 万円
国内研修活動費	5,600 万円
海外研修活動費	1,150 万円
研修会場設営費他	500 万円

(4) 「大学生向け起業家育成支援事業」

■本事業の目的

将来の世界経済を牽引する起業家を支援することを目指す。

■育成方針

詳細は現在企画中

■具体的事業内容

詳細は現在企画中につき、本年度は準備期間とする。

① 費用（平成 30 年度分）

総額：	300 万円
内訳：企画・準備活動費	300 万円

Ⅲ. 管理部門

当財団の収入は、基本財産運用収入と有価証券運用収入、及び株式会社 AOKIホールディングからの寄付金で賄われており、収入額は一定額であるため、当該収入を効率的に、かつ、効果的に貢献できるように諸管理活動については、必要最低限度の支出にとどめ、評議員、理事及び事務局の英知を集結して活動を実施してまいる予定であります。

なお、前年度に引き続き、評議員、理事及び事務局の方々には無報酬にてご参加いただく予定であります。